

やっぱり家族っていいナ

いわて家庭の風景／三行詩コンクール

2008 入賞作品紹介

小学生の部

岩手県知事賞

◆久慈市立大川目小学校

二年 稲村 愛唯李

おかあさんが 本をよんでくれるよ
子もりうたみたいで ねむっちゃう
つづきは ゆめでお楽しみ

岩手県教育長賞

◆一関市立一関小学校

六年 伊藤 大周

おかあさんはね
心のキズを治してくれる
救急箱なんだよ

県PTA連合会長賞

◆矢巾町立矢巾東小学校

一年 吉岡 敬史

みんなでおぶろにはいると あったかいな
ぎゅぎゅうで たのしいね
おゆが ジャーとながれて おんせんみたい

優良賞

◆大槌町立安渡小学校

五年 高田 樹

うれしい時 悲しい時 いつもそばにいてくれる
しかられて でもほめられて
だから やっぱり 帰りたい ぼくの場所

◆久慈市立侍浜小学校

四年 久慈 知樹

ぼくは 五人兄弟のすえっ子だ。
おさがりが 山ほごある。
お兄ちゃんたちも、これを着てたんだなあ。

◆洋野町立種市小学校

二年 野口 英梨

わたしがすきな じかんはね
みんなといっしょに ねるじかん
びっちりくつくと 気もちいいもん

佳作

◆盛岡市立城南小学校

三年 菊池 星南

お父さんといっしょに おぶろに入ると、
「ザーン」とおゆが ながれ出す。
もったいないけど ちよつとうれしい。

◆盛岡市立仙北小学校

三年 齊藤 夢来

だれかがお出かけしていても、
みんなの心は一つだよ。だって、
「家族」だから

◆盛岡市立河北小学校

一年 太田 琴乃

おかあさん すごいね。
だって どんなに いたくても
ぎゅっと してくれたら すくなおるよ。

◆盛岡市立見前南小学校

一年 守村 圭之輔

おかあさんに おこられた
おにいちゃんが おもしろい かおをしたら
わらって なみだが とまったよ

◆滝沢村立一本木小学校

四年 角掛 織部

みんな大キライ！
ケンカのとや、おこられたあとと思うけど
本当は 世界一大すきなんだ。

中学生の部

◆一関市立一関小学校 六年 梅田 紋美
太陽みたいに あたたく見守ってくれている
ボカボカ家族っていいね
いつも ありがとう

◆平泉町立長島小学校 四年 千葉 純
お父さん 元気かな
遠くにいても 不思議だね
目をとじると 笑顔でそばに いるよじだよ

◆大槌町村立安渡小学校 五年 佐々木 楓華
お母さんとけんかして、その日はなんにも話さなかった。
それでも次の日、太陽みたいな笑顔で
「おはよう。」と言ってくれた。お母さん「大好き。」

◆宮古市立千徳小学校 六年 宮澤 美帆
お母さん、昼の時は
一人だけ
夜は あったかい風があつまるよ

◆久慈市立小久慈小学校 四年 大上 義貴
今年の夏の野球の大会
ベンチの中に入るけれど
がんばるから お母さん見てね。

◆久慈市立小久慈小学校 四年 瀧 颯斗
おかあさん あのね
まいにち ごはんをすすんでくれて ありがとう
つかれたら やあといふよ、いざからまよいこへな

◆洋野町立角浜小学校 五年 勝田 優美
朝の「行きます」は
今日も 一日がなほこいぬの 印
勉強、遊び がんばるぞ。

岩手県知事賞

◆釜石市立釜石東中学校 二年 小笠原 雄光
生まれたばかりの弟よ
手を優しくつかんで
行ってきます

岩手県教育長賞

◆一関市立花泉中学校 二年 三浦 慎吾
望まれて生まれた 長男の僕
牛飼いになって 家を継ぐんだ
僕が働くまで頼むよ、お母

県PTA連合会長賞

◆大船渡市立末崎中学校 二年 笹野 樹里
ばあちゃんの「いつらいつら」
少し強めの握手は痛いけど
パワー充電

優良賞

◆盛岡市立下橋中学校 三年 中村 真梨
なりたい大人を想像する
思い浮かぶのは いつも
母の顔

◆岩手町立東部中学校 一年 山崎 文也
「こんな点数めえな。勉強なれよ」
母を言っけ
「おれも同じくらいだった」って父を言っただよ。
エヘッ

◆一関市立花泉中学校 二年 菅原 嘉惠
軽トラ とことこ動かしで、
迎えに来てくれるおじいちゃん
私の味方、私のスーパーマン

佳作

◆盛岡市立下小路中学校 二年 佐々木 亮平
大切なあの日
靴紐を 結びなおす時
家族は 僕の背中を おしてくれた

◆盛岡市立土淵中学校 三年 齊藤 千裕
「勉強したの？」テストの結果どうだった？「はやくなれよ」
親は私の心配ばかり
もう自分のことは 自分でできるから・・・

◆花巻市立花巻中学校 二年 樋口 瑠里子
やっぱり 私とあなたは親子です
性格や行動が とつとも似ている
クスッと笑ってしまいます

◆一関市立中里中学校 三年 柴山 華和
「朝よ、時間よー起きよー」
その声が聞きたくて 目覚まし時計止めて待つって
ほんとは お母さん大好きな私。

◆大船渡市立末崎中学校 三年 紀室 翔子
お父さん
最近冷たくしちゃうけど
ちゃんと 見てるよ お父さんの背中

◆陸前高田市立気仙中学校 二年 菊地 由香
「大丈夫。」
その一言で痛みがとれる

お母さんは 私の葉

◆岩泉町立小川中学校 三年 山崎 由香里

いつも 迷惑かけてごめんね
大好きなお母さんが おばあちゃんになったら
こんどは私に 迷惑かけていいんだよ

◆九戸村立九戸中学校 二年 川畑 春香

服を買ってくれるのは うれしいよ
おじいじいちゃんを作ってくれるのも うれしいよ
けどね、そばにいられるだけでうれしいんだよ

◆九戸村立九戸中学校 二年 田澤 裕也

毎朝、毎朝うそをいよ
毎晩、毎晩うそをいよ
でも、そのうそが ういんだよ

幼稚園児の部

岩手県知事賞

◆岩手大学教育学部附属幼稚園 四歳 細川 萌

あかは おかあさん。たいようみたいにあったかい
あおは おこいちゃん。うみみたいにあったかい
みどりはおは。わたし。
これからいっしょにおおきくなるめ(芽)なんだもん

岩手県教育長賞

◆奥州市立羽田幼稚園 四歳 佐々木 純名

おはよう、
きょうも、おかあさんのつくった
みそ汁のにおいが、めざましかったですよ。

優良賞

◆岩手県立こまくさ幼稚園 五歳 中村 竜也

ママのわらうてるかおが 大すき
たつやまで ニニニニ えがおになって
ふわふわ いいきもちに なるんだよ。

◆奥州市立佐倉河幼稚園 四歳 佐藤 優菜

パパにも ママにもいっしょにいわれたことあるよ。
でもね、おじいちゃんやおばあちゃんといっしょにいられるよ。
みんなにこころをいっしょにわけると うれしいなあ。

佳作

◆岩手大学教育学部附属幼稚園 六歳 川口 恋花

四人家族なんだから、一人でもいなくなっても
ダメなんだよ。
だから、だからママ早く病気 治してね。

◆盛岡市立好摩幼稚園 四歳 遠藤 隼斗

ママ、おんなの子が産まなくても
かげのときは
ほくが お料理してあげるから。

保護者の部

岩手県知事賞

◆北上市北鬼柳 沼田 志奈子

「はずかしいから ひみつだよ」
成長するたび 増えるきみの「ひみつ」
でももう少しの間「ひみつ」教えてね

岩手県教育長賞

◆一関市花泉町涌津 渡邊 理紗

「ママだあいうまき」「ママもだあいうまき」
今日も一日 元気に過ごせる
魔法の言葉

県PTA連合会長賞

◆盛岡市玉山区 荒澤 牧子

五体満足の わが子でないけど
みんなを 温かい気持ちにしてくれる笑顔の天使
家族みんな大好きだよ

優良賞

◆滝沢村大釜 佐々木 喜枝

今日の出来事 話そうよ
包みかくさず 湯気の中
心も体もきれいスッキリするね

◆釜石市甲子町 阿部 亜由子

ねえ、ねえ、お母さん
あのお 聞いて 聞いて・・・
ついでに聞いてが 一番の幸せかもね

◆久慈市山根町 中嶋 敦

「文ちゃん、あんな言い方じゃ 母を傷つくよ。」
中三の息子に諭されたことばに話まの。
このことは忘れない。うれしかった。

佳作

◆盛岡市仙北 吉田 佳代

あなたの帰りを待ちながら

家事の手を止め あなたのことを思う時
お母さんは 幸せだなあって思うんだ

◆盛岡市仙北

白倉 宏美

どんな時も 心はつながっている
ぼかぼか ぼかぼか あたたい
ストーブいらす エコ家族

◆滝沢村篠木

杉下 憲子

「おかえりー」
あなたの元気な声に 疲れが吹っ飛びます。
本当は おかあさんが言ってあげなきゃならないのに

◆奥州市江刺区愛宕

佐々木 久美子

ずっと一緒にいてくれるわけにいかないから
たくさんお願いを込めて
今朝も私は、いっしょに「いっしょ」に包んで送り出す

◆川井村江繋

山口 由香里

赤い目しながら 言ってくれたよね。
泣いているママの涙 ふきながら
「僕がママの涙を拭くからね」って。

◆川井村小国

成田 亜紀子

息子が右で 娘が左 間に挟まれ 小の字で
朝起きると 二人消え
出来る上がるのは 山の字だ

◆岩泉町襷綿

畠山 亜矢子

あの雲かわいーおかあさん
空を見上げて なぜか涙が止まらない
いっつも 下ばかり見てたからだね

一般の部

岩手県知事賞

◆一関市三関

鈴木 和子

見なくて、見なくて、と小さい君
見ゆるよ、見ゆるよ、親の僕
ずっと、ずっと見ゆるよ、ずっと、ずっと親子だよ

県PTA連合会長賞

◆紫波町日詰

照井 陽重

ごめんね
明日こそ にっこりお母さんになるよ
君たちの寝顔を見ながら 毎晩反省です

優良賞

◆盛岡市西仙北

柿沼 智明

「だっこ」言ってくれなくなった あなた達
夢見てる横顔を 起こさないよう
じいちゃん キョーン

◆一関市滝沢

菅原 好江

ママ おじいちゃん。おじいちゃんよ
ママ お顔笑ってないよ、笑って
ママの おじいちゃん 遠くへ 飛んでいきました。

◆久慈市

佐藤 明美

「特に用事はなげないからね・・・」
電話口の後のは
「早く代われ」と父の声

佳作

◆盛岡市北山

老 和智

忘れていました
親のありがたみと
思いを

◆盛岡市小島沢

齋藤 和子

叱られて どんなに泣いても
母を慕う
笑顔の君は たからもの！

◆盛岡市中ノ橋通

千葉 典子

親子だから 分かること――
心によりそい 共に生きよう――
見えない糸が 段々段々 見え始める

◆花巻市桜台

鈴木 耕子

「お母ねこのひまわりは 地球」と言ってる
ゆっくり五つ数えると
となりで娘は 寝息を立てる

◆花巻市鍋倉

名須川 浩子

巣立ち行く今朝
あなたの存在の大きさを
強く強く感じました。

◆宮古市崎山

田鎖 沙耶香

家族っていいな。
いっしょに買う物、夕飯、テレビ。
笑顔のたえない 家族でいたい

◆宮古市磯鶏

長澤 智子

家族ですもの 遠慮なく
鎧を脱いで ぶつかり合う
今日も言葉の ボクシング